



# らいぶらりい

倉吉北高図書館  
2021.04.19

## 朝読書

総合コース、調理科では朝読書があります。  
基本的に月曜日・金曜日の朝に10分間行います。  
本の準備をしておきましょう。

【朝読書のルール】

- \*みんなでやる
- \*ただ読むだけ
- \*好きな本でいい

(ただしマンガ・雑誌・教科書は読まない)

本は図書館で借りてもいいし、おうちから持って来ても良いです。たった10分間ですが、読書を楽しむ良い時間にしてほしいです。



開館日 月曜日～金曜日の生徒登校日（長期休業中も原則開館）  
学校行事、出張等で臨時に閉館する場合あり。

開館時間 8時50分～17時

図書館の利用方法です。  
確認しておいてください！

貸出規則

- 貸出冊数 1人5冊まで
- 貸出期間 2週間（マンガは1週間）
- 貸出方法 借りたい本をカウンターに持ってくる。  
学年とクラス、名前を伝える。  
返却日を確認し、本を受け取る。
- 返却方法 返す本をカウンターに出し、返却の旨を伝える。  
注：返却が遅れた場合は、督促状が発行される。



売りたい本  
いちばん！  
全国書店員が選んだ

2021年本屋大賞

## 大賞 町田そのこ「52ヘルツのクジラたち」

自分の人生を家族に奪われてしまった三島貴瑚と、母親に「ムシ」と呼ばれ続けた少年。孤独で裏切られてきた彼らは出会い、新たな物語がはじまる。

表題の52ヘルツのクジラとは、他のクジラが聞き取れない高い周波数で鳴く、唯一で謎のクジラ。周波数は観測しても姿を確認されていない。クジラの仲間はあるのに、届かない、届いてこない。世界一孤独と言われている。

- 2位 青山美智子「お探し物は図書室まで」
- 3位 伊吹有喜「犬がいた季節」
- 4位 伊坂幸太郎「逆ソクラテス」
- 5位 山本文緒「自転しながら公転する」
- 6位 伊予原新「八月の銀の雪」
- 7位 凧良ゆう「滅びの前のシャングリラ」
- 8位 加藤シゲアキ「オルタネート」
- 9位 宇佐見りん「推し、燃ゆ」
- 10位 深緑野分「この本を盗む者は」

# 4月15日創立記念日

昭和36年(1951)4月15日に本校は第1回の入学式を行いました。

そして、昭和38年2月22日に校歌が制定されました。

「松柏精神を信条とし、希望に燃える若人」「真理を探究しようとする志」「自然の恩恵を受け、平和の栄光」とそれぞれ願いや思いが込められています。

今は校歌を歌う機会がほとんどなく、

1, 2年生は知らない人も多いかもしれません。校歌の歌詞の意味を知り親しく感じてほしいです。

## 校歌

作詞 有福友好  
作曲 大橋博

一、遙かに遠き山脈の

明けゆく空に 光あり

繚乱の花 照り映えて

松柏の学園に 若人が

希望にもゆる この朝

二、太古の森の 静けさを

小鳥は歌ふ 天地の

遠き文化の 源は

波波伎の学園に 集いきて

真理究めん 奥深く

三、豊かにみゆる 平原の

天神の流れ 悠久にして

平和の栄光を 今ここに

高鳴る胸に われ呼べば

見よ宇宙に 風薫る



## 4/23~5/12 こどもの読書週間

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。



## 「Forever Young はじまりの日」

ボブ・ディラン作  
アーサー・ビナード訳

ボブ・ディランは世界的にも有名なミュージシャンです。この歌は息子を思い書いたそうです。その歌が絵本になりました。日本語訳をしたアーサー・ビナードさんはどう日本語に訳そうかと何度も歌を聴いて考えたそうです。とっても素敵な詩です。絵にも隠された意味がありますよ。